

教育相談  
072-924-3892

情報推進  
072-992-3910

研究・研修  
072-924-0583

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>  
(「教育委員会」のページよりご覧ください)

## 学級経営指導力向上研修(集団づくり・レクリエーション)

テーマ 「学級集団づくりに活かせるレクリエーション～先生のためのコミュニケーションワーク～」

講師 (公財)大阪府レクリエーション協会

理事・公認講師 時森 美智子 さん

日時：平成27年1月7日(水) 10:00～12:00

場所：八尾市立教育サポートセンター 3階 講座室

この研修は、希望する八尾市立学校園教職員を対象に、学級経営・集団づくりの技術向上のため、場の雰囲気や和ませ、その後の活動を豊かに展開させ人間関係の基礎をつくるのに役立つ遊びやゲームについて学ぶことを目的として実施しており、当日は24名の参加がありました。

今回の研修では、アイスブレイクとなる遊びから始まり、交流と団結を生み出すゲームや、傘袋を用いたおもちゃ遊び、曲に合わせて自由に表現するダンス等について、実践しました。アイスブレイクでは、子どもたちの心をほぐすために、少しずつ難易度が上がり、なおかつミスをしてもしやすい気分になるような内容でした。交流と団結を生み出すゲームの中では、必然的に握手をしたり、手をつないだりする活動があり、ふれあうことで心と心の距離を縮めることのできる活動でした。また、遊びやゲームだけでなく、子どもたちへの話し方や表情、教師が楽しもうとする姿勢についても話して頂きました。今回の受講者は、幼・小・中の教員でしたので、対象となる子どもたちの年齢層に幅はありますが、アレンジの仕方によって幼児も児童も生徒も楽しみ、人間関係の基礎をつくるのに役立つ内容でした。

受講後の感想には、「8人で行った『くまが出た』は、早速明日クラス内で行いたいです」「今回のレクリエーションの内容は、学級開きの時に行えば、子どもたちの友だち関係を知る上で役立つと思いました」「子どもに伝えるための工夫や注意点なども知ることができたので、保育の中で実践していきたいです」「大人でも楽しめるので、中学生でも楽しむことができると思いました。また、指示をする教師が笑顔でないと、子どもたちが楽しめない、また楽しむためには子どもたち同士の協力も必要だと思いました」「どの遊びも楽しくて、少しアレンジすれば日常の保育に活かすことができるものばかりで、受講できて本当によかったです。また、学級懇談や参観日などに、保護者同士をつなぐためにも役立つと思いました」等がありました。



## スキルアップ研修 ④

テーマ 「子どもの育成・支援について」

講師 八尾市立教育サポートセンター  
指導主事 玉置 奈津子

日時：平成26年12月25日（水）10:00～12:00

場所：八尾市立教育サポートセンター 3階 講座室



この研修は、採用2年目の先生方を対象に、指導力の向上や問題解決能力等の育成を図ることを目的として実施しています。

今回の研修では、「子どもの育成・支援について」と題して、当教育サポートセンター指導主事の玉置より講義を行いました。玉置からは、子どもたちを見る時の視点や声掛けの仕方、支援をする時のポイント等について、話がありました。講義の中の、「教育は子ども理解に始まり、子ども理解に終わる」という言葉が、受講者の印象に残ったようでした。

また、受講者からは、「今まで何度も言われきた、学んできたはずのことなのに、改めて『はっ』とさせられました」「今日のお話を聞く中で、やはり『一人ひとりがちがう』こと、得意なことや嫌いなことがあることを教師は認め、理解し、その上で授業づくり・集団づくりをしていかなければならないと改めて感じました」「毎日、試行錯誤しながら子どもと向き合っています。できないことを批判するのではなく、できること、できたことを評価し、子どもとの信頼関係を大切にすることが、子ども理解につながるということがわかりました。」等の感想がありました。

## スーパーチャレンジ研修 ③

テーマ 「学校における防災教育」

講師 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター  
准教授 豊沢 純子 さん

日時：平成27年1月7日（水）14:00～16:00

場所：八尾市立教育サポートセンター 3階 講座室



この研修は、スーパーチャレンジ研修の最終回であり、採用5年目の先生方54名が参加しました。講師は大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター准教授の豊沢 純子先生で、「学校における防災教育」というタイトルで講演をしていただきました。

研修では、冒頭に平成26年3月に作成された「やお防災マップ」を使用して、八尾市の自然災害リスクについて考えました。また、豊沢先生から防災教育・防災対策の状況と従来の防災教育の問題点について説明をしていただきました。そして、今後の防災教育に必要な視点、また防災教育の進め方について具体的なお話をいただきました。最後は4～6名のグループ毎に、受講者自身が休み時間中に職員室にいる際に、大きな地震災害が発生したことを想定して、地震発生から児童・生徒を保護者に引き渡すまでの対応について話し合いました。このようなシチュエーションを想定することで、具体的にどのように動けばよいかを考えることができ、とてもよい体験になったようでした。

受講者の方からは、「災害時には、常に最悪の状況を予想して行動することが必要であることを感じました。そのためには、教師の分担だけでなく、子どもたちが自分で自分の命を守ることができる指導を行う等、必要なことがたくさんあることを再確認できました」「いつ何時起こるか分からない災害だからこそ、従来の防災教育・対策から脱し、より具体的ないろいろな状況下での訓練が大切だと感じました」等の感想がありました。